

鬼退治

幸福願いで

福を求め多くの町民でにぎわう
吉井・仁叟寺
吉井町神保の仁叟寺（渡辺啓司住職）で三日、毎年恒例の大節分会が開かれ、一年の福を求める多くの町民でにぎわった。

豆まきは午後一時から三回に分けて行った。渡辺住職や寺の総代人、年男年女の町民らが文殊堂の舞台に並び「福は内」の掛け声に合わせて数メートル下の境内に向かって福豆を投げる寺関係者たち



のに入った袋などを投げ入れ、訪れた人たちは一年の健康や家内安全を願って手を合わせていた。境内には三回合わせて約千三百人が詰め掛け、豆に手を伸ばした。合間には祈とう法要も営まれた。

上毛新聞掲載

幸福願いで鬼退治

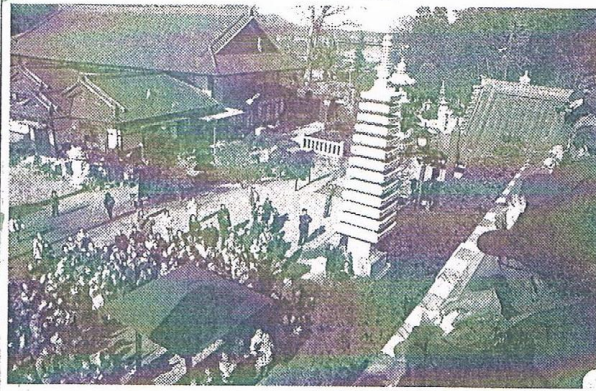
福を求め多くの町民でにぎわう 吉井・仁叟寺

吉井町神保の仁叟寺（渡辺啓司住職）で三日、毎年恒例の大節分会が開かれ、一年の福を求める多くの町民でにぎわった。

豆まきは午後1時から三回に分けて行った。渡辺住職や寺の総代人、年男年女の町民らが文殊堂の舞台に並び「福は内」の掛け声に合わせて数メートル下の境内に向かって福豆のに入った袋などを投げ入れた。

境内には三回合わせて約千三百人が詰め掛け、豆に手を伸ばした。合間には祈とう法要も

生まれ、訪れた人たちは一年の健康や家内安全を願って手を合わせていた。



吉井の仁叟寺「大節分会」
無病息災を
願い豆まき

内「鬼は外」のかけ声が響き、参加者は1年の幸福と無病息災を祈った。
豆まきは、住職や法被姿の総代らによって境内の高台にある文殊堂の舞台から福豆や餅、景品が当たるカラーボールが投げ入れられた。集まった人たちはコートの上を広げたり帽子をかざして飛び交う福豆や餅を集めていた。豆まきに先立ち文殊堂で厄よけや家内安全などの祈とうが営まれた。
このほか境内では、甘酒が振る舞われたり抽選会が開かれた。
【花野井誠】

毎日新聞掲載

無病息災を願い豆まき

吉井の仁叟寺「大節分会」

節分の三日、吉井町神保の仁叟寺（渡辺啓司住職）で「大節分会」が開かれた。境内には「福は内」「鬼は外」のかけ声が響き、参加者は1年の幸福と無病息災を祈った。

豆まきは、住職や法被姿の総代らによって境内の高台にある文殊堂の舞台から福豆や餅、景品が当たるカラーボールが投げ入れられた。集まった人たちはコートの上を広げたり帽子をかざして飛び交う福豆や餅を集めていた。豆まきに先立ち文殊堂で厄よけや家内安全などの祈禱が営まれた。

このほか境内では、甘酒が振る舞われたり抽選会が開かれた。

吉井町の仁叟寺で三日、文殊菩薩縁日を兼ねた恒例の節分会が行われ、境内は約二千人の参拝客で終日にぎわった。写真。

豆まきは午後一時から四時まで三回にわたって行われ、参拝客らは壇上

吉井町の仁叟寺で三日、文殊菩薩縁日を兼ねた恒例の節分会が行われ、境内は約二千人の参拝客で終日にぎわった。写真。

豆まきは午後一時から四時まで三回にわたって行われ、参拝客らは壇上

降りそそぐ福

吉井
仁叟寺



産経新聞掲載

降りそそぐ福 吉井仁叟寺

吉井町の仁叟寺で三日、文殊菩薩縁日を兼ねた恒例の節分会が行われ、境内は約二千人の参拝客で終日にぎわった。

豆まきは午後一時から四時まで三回にわたって行われ、参拝客らは壇上の年男らに「投げて」「こっちよ」と声をかけ、縁起ものの福豆や福もちなどを争って拾った。温かい尼酒やお茶が無料で振る舞われ、今年が厄年だという男性は「豆まきで厄落としできました」と話していた。